



32回目の“慰霊”の日を迎えて

1月10日。この日は本校にとっては、決して忘れてはならない“慰霊”の日です。平成4年1月10日に当時2年生だった小野寺仁君が、本校敷地内において同じ飯田高校生に刺殺されるという悲しい事件が起こりました。生徒の安心・安全の保障を最優先すべき学校において、未来が突然奪われてしまった仁君の無念さ、また朝、普段通り登校する仁君を見送ったはずなのに、数時間後には変わり果てた姿となった仁君と対面したご両親の深い悲しみや憤りに思いを致すとき言葉も見つかりません。

あの事件から今年で32年目となりました。しかし、どれだけ時間が経とうとも、あの悲しい事件のことを決して忘れずに、仁君やご両親の無念さ、また命の尊さについて深く考えることが、本校に係わったすべての人たちの責務であると考えています。

当日は、全校で黙とうを捧げた後、校内放送により私からの講話、そして生徒自治会長の慰霊の言葉

（“規律ある学窓”“反暴力”が掲げられている『高松92宣言』の確認）をし、その後は事件の現場となった場所に建立されている“いのち”の碑の前で、県教委関係者、全職員、生徒自治会代表により、慰霊式を遂行しました。



大学入学共通テスト実施、いよいよ受験シーズン本番 ～ベストを尽くせ3年生！！～

1月13日（土）、14日（日）の2日間にわたり、大学入学共通テストが行われました。本校も試験会場の一つとして、飯田・下伊那の高校3年生など約500名が、校門で受験票の確認を受けたあと緊張した面持ちで校内に入ってきました。平成29年から本校が受験会場となったこと（それまでは伊那市の信大農学部が受験会場）で受験生の負担感も随分軽減されたのではないかと思います。本校でもほぼ全員の3年生、

230名ほどが試験に臨みました。自己採点をした後、その結果を受けて具体的に受験する大学を絞ることになります。3年生にとっては3月末までの長い受験シーズンの始まりです。目標とする大学合格を目指し、ベストを尽くしてもらいたいと強く願っています。

